

定期的な往復需要に、“密”が回避できる平日昼間帯、及び週末のバス利用を提案
シェア可能なバス定期券『さんこーたいむパス』11/16より新運用を開始

～「窓口への来店不要」等の特典を追加、熊本県内の地域経済活性化に期待～

九州産交バス株式会社(本社:熊本市西区上代4丁目、代表取締役社長:森 敬輔)では、昨今のコロナ禍を背景に、以前より発行する1枚でシェア(共有利用)が可能な定期券『Bフリーパス』*1に、新たな特典を追加、2020年11月16日より新名称、『さんこーたいむパス』としての運用を開始いたします。

当社では同定期券により、お客様へは窓口来店不要の利便性ととも交通費の節約、また、平日の昼間帯、及び休日等、比較的“密”が回避できる時間帯の公共バスの利用を推奨、提案して参ります。

『さんこーたいむパス』の販売価格は、従来から据え置きの1ヶ月分で5,600円(税込み)、3ヶ月分で13,240円(税込み)。例えば490円区間で換算すると、1ヶ月定期券の場合は6回の通常料金での往復利用で元金以上となり、通常定期券と比較すると、12,040円の割安になります。

11月16日より新たな運用を開始する『さんこーたいむパス』では、従来からのメリット(割安価格*2、1枚で共有利用可能)に加え、申し込み・受け取りが窓口への来店不要(送料は産交バス負担)とするほか、定期券の提示で「サクラマチ クマモト」2テナントの優待サービス特典を追加しました。

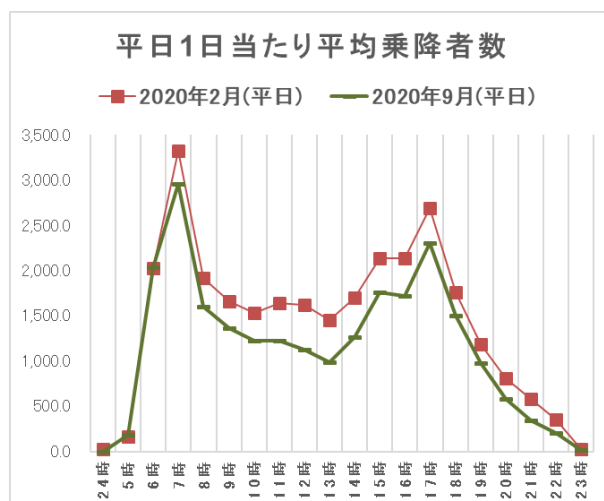
感染症対策によるテレワークや休校の増加の影響もあり、車内では十分な対策を講じているものの、バス利用者数は大きく落ち込んでいます。今年2月との対比で、9月は平日で19%、週末で28%の減少。また、平日1日当たりの乗降数は午前10時から午後2時の時間帯の低下率が顕著で、同対比で27%下回る水準に至っています。

熊本経済の停滞は、公共バス利用者数の数値からも明らかに示されています。そこで当社では『さんこーたいむパス』のリニューアルを通じ、お客様が“密”を回避できる平日昼間、及び週末に各々のペースで目的地への往復を安心・安全に、効率的に回遊でき、結果、お客様の経済活動が地域活性化の一助となることを期待しています。



【例】熊本桜町バスターミナル⇄植木(片道:490円区間)

通常定期券(大人)	▶ 17,640円/1ヶ月
さんこーたいむパス	▶ 5,600円/1ヶ月



『Bフリーパス』*1:2006年1月より運用開始。本日現在、年間400枚前後の発行。主な購入層は50~60代女性が約60%。／割安価格*2:平日の利用時間にのみ制限(9:00~17:00に降車可能な便)あり。

<当件に関するお問い合わせ先>

九州産交バス株式会社 営業本部営業課 (担当:森山、園部)／共同経営準備室 (担当:今釜)

TEL:096-325-8303 FAX:096-323-7301